

# 波音

なみおと



清水海岸だより 第5号(H19.12)

## 第5号の内容

- 特集：清水海岸の事業概要(平成19年度)
- 清水海岸事業ファイル⑤：新工法紹介「根固工」



PHOTO：窪田 敏

## 三保の自然を題材にした絵画シリーズ (3)

### 『駿河湾富士遠望図／司馬江漢』静岡県立美術館収蔵品

しまこうかん  
司馬江漢(1747～1818)は、江戸中・後期、洋風画を制作し活躍した画人。天文学、地理学など西洋の自然科学の紹介でも貢献。江戸生まれ。初め狩野派、ついで南蘋画風を学び、一時、鈴木春重の名で浮世絵も描いた。晩年は、老荘思想や禅に惹かれ、洋風画から離れ独自の魅力をはなつ日本風景画を描いた。(静岡県立美術館図録「富士山の絵画」より抜粋)



この作品は、江漢が、天明8年(1738年)に鉄舟寺の観音堂から実見し、その後、京都で寛政11年(1799年)に制作したといわれている絹本油彩である。横長の作品で、三保の松原が中央に配置されたダイナミックな構図となっている。

特集

# 清水海岸の事業概要

(平成19年度)

静岡県では、平成18年度に今後の清水海岸侵食対策の検討を行い、清水海岸高潮対策事業の計画変更を行いました。(※変更計画の概要は「波音」第4号に掲載)平成19年度は、この変更計画に基づき、養浜工、根固工等を実施しています。



(三保工区)



(駒越工区)



(2号消波堤)

## 養浜工

養浜工は、浜幅がやせてしまった場所に重点的に砂を投入し維持しようとするものです。漂砂の流れてくる安筒川から土砂をダンプ運搬するサンドバイパス工法と、漂砂の終点となる三保飛行場付近から土砂をダンプ運搬するサンドリサイクル工法があり、投入量はそれぞれ5万m³と2万m³を予定しています。

## 根固工

根固工は、越波被害の危険性のある羽衣の松西側、清水南高校前、駒越西交差点前の3地点において、堤防基部の洗掘防止(養浜盛土歩留まり向上)による堤防の倒壊防止を図るため設置します。

## 嵩上工

嵩上工は、長年受けた波浪により沈下してしまった離岸堤や消波堤を、新たに製作した消波ブロックを追加投入設置して補修するものです。

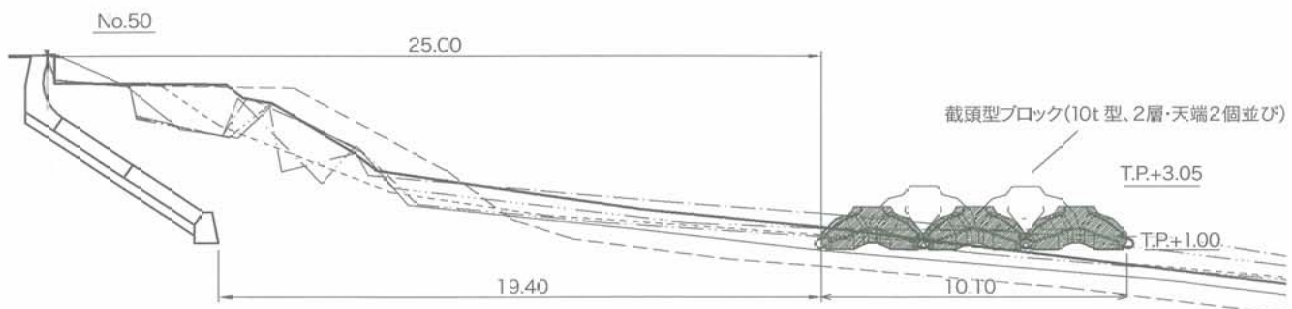
## 新工法紹介

ねがためこう

### 【根固工】



根固工は、越波被害の恐れのある砂浜幅の狭い海岸線に設置し、海岸堤防の倒壊を防止するとともに養浜材(土砂)の流出を抑制する工法です。  
将来的には、安倍川土砂の到達による砂浜の回復が期待されることから、沿岸漂砂を極力阻害しないよう、天端(根固工の高さ)を低く抑えるなどの配慮をしています。また、天端が低いため、景観に配慮したものとなっています。



根固工 断面図



お問合せ、ご意見はこちらまで

静岡県静岡土木事務所 清水支所  
静岡市清水区日の出町 9-25 (〒424-0922)  
TEL 054-353-2212 FAX 054-354-1873

◇静岡県静岡土木事務所 清水支所 発行◇